

共和町女性の会に地方自治法70周年記念 総務大臣表彰

共和町女性の会（松田和子会長）が地方自治法70周年記念総務大臣表彰を受賞され、12月22日に山本町長から表彰状と記念品が伝達されました。

共和町女性の会は、毎年5月に町内環境美化と交通安全啓発のため、国富交差点の花壇に植栽し、水やりや草取りなどシーズン終了まで花壇の手入れをされています。また、「共和かかし祭り」では、会場のゴミ拾い等に従事するかたわら、「共和音頭」の普及や指導にも尽力されています。このほか「敬老会」では、会場の設営や参加者の接待、「町スキー大会」では参加児童生徒等に昼食を振る舞うなど、ボランティアでの様々な活動で地域の発展に多大な貢献をされたことが評価され、この度の受賞となりました。



町議会議員高嶋光雄さんに 北海道社会貢献賞

高嶋光雄さん（ワイス）が北海道社会貢献賞を受賞され、12月22日に山本町長から表彰状と記念品が伝達されました。

高嶋さんは、昭和62年に共和町議会議員として当選以来、8期30年の永きに渡り在任し、副議長、総務常任委員会委員長の要職を歴任。この間、産業の振興では、かんがい排水事業や町内各地における圃場整備事業など土地改良事業を推進され、また、到来する高齢化社会に対応するため、共和町社会福祉協議会と連携した在宅福祉を確立。高齢者が安心して生活できる体制の構築に尽力されるなど、これらの功績が評価され、この度の受賞となりました。

今年も大盛況！ 年末謝恩大売出し特別大抽選会

1月8日、町商工会（原田勇雄会長）主催による、年末謝恩大売出し特別大抽選会が生涯学習センターで行われました。

約400人が来場した会場内では、「32型ハイビジョンテレビ」や「炊飯器」などの豪華賞品が抽選で当たる宝引きが行われ、お目当ての景品を狙って大勢の方が挑戦する中、見事当選した4名は大喜び。会場は当選した方を祝う拍手に包まれていました。

このほかにも500円玉・千円札の現金つかみ取りが当たる抽選会や日用品が必ず当たる三角くじが行われ、抽選箱の前には大行列ができるなど、会場は終始大きな賑わいをみせていました。



厳粛に執行 平成30年共和消防団出初式

1月5日、共和消防団（駒形勝博団長）の年頭行事である出初式が、役場庁舎前で厳粛な空気の中執り行われました。

1月としては穏やかな天候に恵まれ、町内9分団から集まった131人の消防団員が、山本統監（町長）から観閲を受けた後、新しい年に災害が起こらないようお願いしながらきびきびと分列行進を行いました。

その後、生涯学習センターに会場を移し、地域防災に永年尽力されてきた団員、退団者に対して表彰状が授与・伝達されました。



平成29年消防概況報告（共和町）

【火災の発生状況】

火災種別	H29(件)	H28(件)
建物	1	3
林野	0	0
車両	0	1
その他	2	3
合計	3	7

【消防団の出動状況】

区分		出動回数	
		出動回数(回)	出動人員(人)
火災	建物	1	31
	林野	0	0
	車両	0	0
	その他	1	27
	計	2	58
行方不明者捜索		1	93
風水害		3	75
出初式		1	135
消防演習		1	140
消防訓練		6	275
防火査察		2	318
防火宣伝パレード		2	32
その他		1	7
合計		19	1,133

各表彰受賞者（敬称略）

○北海道知事表彰

永年勤労表彰（勤続30年）

高林 一夫 小坂 義昌

勤労賞（勤続20年）

久島 敏洋 金井 政義 森 敬志
五百蔵茂基

表彰状（勤続10年）

長尾 隆之

○北海道消防協会長表彰

勤続30年

谷口 豊 佐々木 修

勤続20年

久島 敏洋 齊藤 公男 竹内 淳
長谷川 暁 長尾 義博

○北海道消防協会後志地方支部長表彰

勤続30年以上退団者

谷口 豊 津田 功 疋田 士朗
小坂 義昌

○共和町長表彰

優良団員

渡 義則 山本 秀明 佐々木 修

退団者表彰（勤続15年以上）

谷口 豊 西 慶一 馬場 伸貴
井田 良則 津田 功 疋田 士朗
石岡 一彦 小坂 義昌

5力年無火災表彰

第5分団（老古美・上梨野舞納・上梨浜中）
第9分団（幌似・神水）

町の安全への願いを込めて 交通安全チャリティーカラオケダンスパーティ

平成29年12月3日、共和歌謡愛好会（野澤哲夫会長）主催による交通安全チャリティーカラオケダンスパーティが国富地区住民センターで開催されました。

このカラオケダンスパーティは、歌謡愛好会女性会員によって作られた料理で会食をしながら歌と踊りを楽しみ、地域の人の交流を図るとともに、収益の一部を共和町交通安全協会に寄附して、町の交通安全に貢献するという取り組みです。昭和58年から毎年開催されていましたが、会員の高齢化等の理由で今回の第35回で最後の開催となりました。



カラオケダンスパーティの様子

歌謡愛好会ではこれまで、高さ8メートル幅7メートルの巨大雪だるまで道行くドライバーの交通を見守る交通安全太郎の製作も昭和59年から30回にわたり企画、運営するなど町の交通安全意識を高める活動に尽力されてきました。

カラオケダンスパーティ最後の開催を終えて野澤会長は「35回続けて来られたのも参加してくれた皆さま、運営に協力してくれた歌謡愛好会会員のおかげです。感謝しています。今後は、大きなイベントはなくなりますが、歩行者の見守り等を通じて町の交通安全に貢献していきたい」と笑顔で話してくれました。



開会宣言をする野澤会長



田村 新太ちゃん



村山 紗奈ちゃん



小笠原 大悟ちゃん



かかし文芸会

共和短歌会

言い分は私もあるに言い訳の
妻のことばは次から次と

鹿谷 法純

思い出の中に生きてる亡舅と亡夫
語り尽くせぬ息子と吾よ

小林 初枝

またしても結婚・恋愛・仕事運

浅井 文博

おみくじ求めて読んでしまぬ

平田 東助

すれちがう人に挨拶いずる道
森林なればなぜかおのずと

平田 東助

共和俳句会

炬燵して言わず語りの老夫婦

雨夜 正義

除夜の鐘映る寺院に手を合わす

青木 昭三

廢校の碑かくし根雪くる

小室 羊岳

半襟の白さにふるる初鏡

酒谷 定子

語り合い夫の傍毛糸編む

雨夜 礼子

年の瀬の街にひとりの小買物

舟山フミ子

視界ゼロ雪一色の恐怖かな

川田 スミ